

令和6年第1回明和町議会定例会一般質問事項

3月7日

4 8番 本澤 春江 議員

1. 今後の学校のあり方について

小中学校校舎は老朽化が進み、建て替えの時期にきている。小中学生の保護者から今後の学校のあり方についての質問が増え、関心が高まっているため問う。

- (1) 学校のあり方審議会に諮問した背景は。
- (2) 各学校の建物面積と、西小学校の南校舎の東西で建築年数がずれている理由は。
- (3) 学校の強靱化と建て替えの予算についての説明を。
- (4) 小中一貫校という選択肢はないか。
- (5) 今後のスケジュールは。

5 7番 眞塩 香奈子 議員

1. 子宮がん検診について

子宮がん検診は20歳以上の前年度未受診の女性が対象となる検診で、以前は毎年検診を受けられていたが、令和3年度より国のガイドラインに沿って2年に1回の検診となってしまった。調査の方法によっては、群馬県の受診率は全国平均を下回っているようであるが、本町にレディースクリニックもできるとのことなので、受診率向上を目指し対象者をより多く受診に導いていただきたく質問する。

- (1) 町の子宮がん検診の受診率は、全国や県に対してどれくらいか。
- (2) 町で実施している集団検診と個別検診のそれぞれの世代別受診者数と受診率は。
- (3) 集団検診と個別検診に検診内容の違いはあるか。
- (4) 世代別の要精検者数は。また、2年に1回の検診へ変更となった後の要精検者数に変化はあったか。
- (5) 町の検診で要精検となった者への対応は。
- (6) 今後町には健診棟ができるが、検診はどのようになるのか。
- (7) 受診率を上げるための周知方法をどのように考えているのか。

6 11番 奥澤 貞雄 議員

1. 魅力ある農業政策について

年々農業従事者は減る一方である。後継者問題等の対策を考えるにあたり、魅力ある農業を考察していかざるを得ないと推察される。

- (1) 明和町の農業人口の推移と課題をどのように捉えているか。
- (2) 町はキャベツ栽培を推奨され、農家は企業との契約を推し進めているが、経営を含めた現状の効果と課題は。
- (3) 魅力があり儲かる農業を目指すにはスマート農業等戦略も必要であるが、現在どのような対策がとられているか。
- (4) スマート農業の普及のため、これに特化したプロジェクトチームが必要では。
- (5) 6次産業化の推進と農産品に付加価値をつける施策、町外からの流入人口をねらった直売所の設置、その他販路拡大の考えはあるか。
- (6) 今後、明和町は総合計画の中で農業をどのような位置付けに考えていくのか。